



大泉

「自律」

「協働」

「創造」

令和8年 2月 2日
発行者 大槻 亨
編集 本田 敏行

第 9 号

行為の意味

校 長 大槻 亨

厳しい寒さの中にも、ふとした瞬間に春の気配を感じる季節となりました。保護者・地域の皆さまにおかれましては、日頃より本校の教育活動に多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和7年度の締めくくりとなる第3学期がスタートして、早いもので一か月が経ちました。校内を歩くと、どの学年の教室からも授業に集中する真剣な眼差しが感じられ、非常に落ち着いた学校生活を送ることができています。特に3年生にとっては、私立高校や都立高校の受検が始まっており、緊張感の中にも最後の追い込みに励む力強さが伝わってきます。これまでのたゆまぬ努力を自信に変え、本番ではもてる力を最大限に発揮してくれることを切に願っております。

■ 東日本大震災から15年と、ある「言葉」

来月、3月11日で東日本大震災の発生から15年を迎えます。当時、被災地のみならず日本中が深い悲しみと不安に包まれる中、テレビから繰り返し流れていたある言葉を、皆さまも覚えていらっしゃるのではないでしょうか。

「こころ」は だれにも見えないけれど 「こころづかい」は見える 「思い」は 見えないけれど 「思いやり」は だれにでも見える

これは、埼玉県出身の詩人・宮澤章二さんの『行為の意味』という詩から抜粋・要約されたフレーズです。当時、多くの人々の心に寄り添い、手を取り合う勇気を与えてくれました。

今月は「ふれあい月間」とし、いじめの未然防止に全校を挙げて取り組んでいきます。この宮澤さんの詩は、まさに私たちが今、生徒たちに伝えたいことそのものです。

人の心の中は、だれにも見えません。どんなに温かい思いをもっていたとしても、それを行為として表さない限り、相手に伝わることはありません。逆に言えば、自分の思いを「行動」という形にしたとき、はじめてそれは意味をもち、誰かを救う力になるのです。

「おはよう」という挨拶、「ありがとう」という感謝、そして誰かが困っているときに差し伸べる手。これらはすべて、見えない「心」を「見える形」に変える、積極的な行為です。

15年前の大震災で私たちが学んだのは、人と人との絆の尊さと、助け合うことの大切さでした。心の中にある「思い」を、勇気をもって「思いやり」という行動に移すこと。その積み重ねが、いじめのない、誰もが安心して過ごせる学校を創る第一歩となります。

生徒たちが、心と行為を一致させ、一歩も二歩も成長していけるよう、教職員一同、引き続き全力で支援してまいります。ご家庭におかれましても、この節目に「相手を思う心を行動に移すこと」について、ぜひ話題にしていいただければ幸いです。



オクラ日記 NO. 4

今回は「スクラム」のお話です。ここ最近いろいろな講演会や会議等で「皆でスクラムを組んで・・・」という表現を耳にするようになったと思います。さてこの「スクラム」とはいったい何者なのでしょう。ラグビーの世界のスクラムとは、簡単に説明すると「8人对8人が組み合ってボールを奪い合うもの。」となっています。つまり、8人が一つの塊となって相手に立ち向かう戦いの一つなのです。一人一人の力を結集し、大きな力を生み出し爆発的な成果を得られるものが「スクラム」なのです。

この力の結集は、決してラグビーだけで活用されているものではありません。今、3年生は受験に立ち向かっています。義務教育を終え、自らの将来像を描きながら日々努力を積み重ねていることでしょう。受験するのは本人ですが、その環境を整えサポートしていく保護者の皆様、学年の教員そして担任とお互いに力を合わせていくこそが「スクラム」と思います。

受験生の保護者の方から「過去問」について質問が寄せられました。「いつから過去問は取り組んだ方がいいのか。」等・・・私の私見ですが、過去問は取り組むべきです。もちろん過去問がそっくりそのまま出題されることはありませんね。私は過去問の問題文になれるために取り組むことを受験生には勧めてきました。つまり、問題文をよく読んで解答を導き出した経験があれば初めて見る問題文でも「あれ?この出題文は以前取り組んだ問題に似てるな!」と気付き正解まで導くことができると考えています。この「似てるな!」に気付くことは経験からくるもので、過去問の利用の効果だと思います。

「スクラムを組む」=「皆で同じ方向(ベクトル)に向かう」=「お互いを信じあって取り組む」この一体感があってこそ爆発的な力となります。その一つに過去問という材料を加えてもいいと思います。

副校長 本田 敏行

【追伸】 学校からの情報発信の一つに学校 HP があります。そこには「お知らせ」・「できごと」・「給食だよ」等の項目があります。

今年度から大槻校長先生のご許可をいただき「オクラ日記(副校長からのつぶやき)」という項目を新設しています。HP のオクラ日記は、学校だよりの記事ではなく、日々の学校生活で生徒の活躍に焦点をあて紹介をしているものです。是非、ご覧いただければ幸いです。大泉中の生徒たちはいろいろな場面で活躍しています。



皆様方からのご意見・ご感想をお待ちしております!次回はスタンドオフ(10番)のお話です。